

UW 体験記

札幌校 基礎学習開発専攻 英語グループ1年 村上 あかね

1 プログラムについて

この研修では、三週間アメリカのワシントン州にあるシアトルに滞在しました。三週間ずっとホームステイで、平日の午前中はワシントン大学で講義を受けました。アメリカへの移動などは教育大からの参加者約 20 人でまとまって行動できたので、みんなで助け合いながら移動できて、とてもよかったです。



↑何かとお世話になる UW タワー

2 ワシントン大学での講義

まず現地に着いて二日後に、グループ分けのテストがありました。内容はリスニングとインタビューでした。リスニングは時差ぼけもあってかとても難易度が高いように感じられましたが、インタビューでしっかりと自分の気持ちを伝えることができれば希望通りのクラスへいけると思います。クラスは **high**・**middle**・**low** の三種類で、使う教科書のレベルがそれぞれ違います。私は **high** クラスだったのですが、主に **fluent**(いかに流ちょうに話すか)についてネイティブスピーカーの先生から教えていただきました。講義は 9 時 30 分に始まって 12 時 30 分ごろには終わったので、とても集中して受けることができました。



↑ハイクラスのクラスメイトと先生

3 ホームステイについて

ホームステイ先は、アンケートをとってもらい確定します。今回私の行き先が正式に決まったのは一週間前でした。私のお家は看護師を退職したおばあちゃんの一人暮らしだったので、とてもおのびのび過ごせました！ホームステイの時に気をつけておいたほうがいいのは、積極的にコミュニケーションを図ることです！それから、洗濯や料理もある程度しなければというつもりで行った方がいいと思います。私の家では、朝ご飯も昼ご飯も **have your self**（ご自由に）でした…。ホームステイ先は本当に様々で、その行き先によってこの留学の楽しみ方が本当に変わります。それもこの研修の魅力だと思います！

4 休日の楽しみ方

この研修は、シアトル観光ができるのもまた魅力です。平日の午後、休日は絶好のチャンスです！私は仲のよい友達と、シアトルの観光地をほとんど制覇しました。一週目の休日は、ホストファミリーに滝に連れて行ってもらったり、二週目は友達と1泊2日でポートランドに行きました。買い物をしたりおいしいものを食べて、とてもリフレッシュできました。ただ、いくら治安の良いシアトルとはいえ、夜に外出することはおすすめしません。やはり日本よりもホームレスや不良の人が多いと感じました。私は日が暮れる頃には必ず家にいるようにしていました。

5 注意事項

ここからはこれからこのプログラムに参加しようと考えている方にむけて書きます。まず気候についてですが、いくら雪がなくてもシアトルは寒かったです。シアトルは西海岸に面していて、たくさんの湖があります。その湖から吹く風のせいで、とても寒く感じられました。また、ホームステイの時は、ほとんどの家が土足なのでスリッパを持って行くのとくつろげます。お風呂も土足なので、靴だけだとかなり厳しいです。荷物は重さに気をつけさえすれば大丈夫です！私は日本からお菓子を連れて行きましたが、時差ぼけで夜なかなか眠れなかった時期は夜食としてとても助かりました！！

6 感想

私は今回、仲の良い友達と行けて、しかも短期で行けるということでこのプログラムに参加しました。実家暮らしだったこともあり行く前はとても不安でしたが、行く直前にホストマザーからきたメールでかなり勇気ができました。その言葉は、**Don't be so nervous. We are all human beings.** です。アメリカに実際に行かないとわからない空気感や人々の印象がありました。アメリカの人は自分を持っていて、本当に大きかったです。ぜひ皆さんもこのプログラムに参加して、リアルなアメリカに触れてみてください！